

Eastspring Asia Now

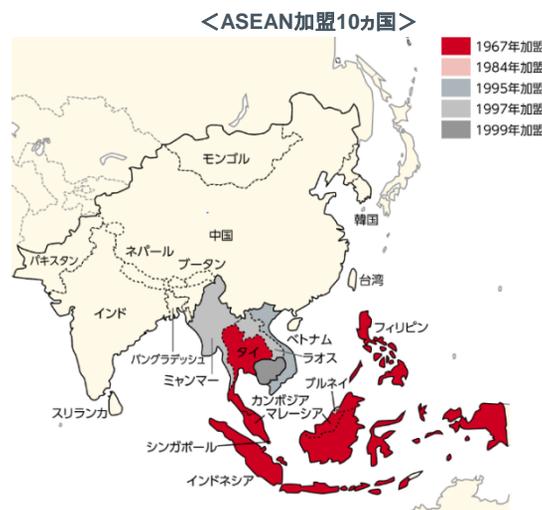
Vol.17 グローイングASEAN 祝！ 設立50周年

域内の関係深化、中間層・富裕層の更なる増加が見込まれる

- ▶ ASEAN(東南アジア諸国連合)は、1967年にタイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの5カ国で設立されました。その後、ブルネイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーが加わり、現在は10カ国で構成されています。域内の総人口が6億人を超え、ASEANは過去10年間に高い経済成長を見せており、今後も世界の「成長センター」となる潜在力を持っています。
- ▶ 設立50周年にあたる今年は、様々な国や地域で会議や式典が催されています。今年議長国を務めるフィリピンでは、4月にASEAN首脳会議、8月にASEAN外相会議が開かれました。このほかASEAN最大の経済規模を誇るインドネシアでも、ASEAN設立50周年を祝う記念式典が8月に南ジャカルタのASEAN事務所で開かれ、同国のジョコ・ウィドド大統領やASEANのレ・ルオン・ミン事務局長らが出席しました。加盟各国が良好な協力関係を維持し、経済統合と成長を目指すことを確認、麻薬撲滅やテロ対策でも協力を呼びかけました。

域内で一体化したサプライチェーンを強化、さらなる輸出の拡大を期待

- ▶ 2015年末に「政治・安全保障」「経済」「社会・文化」の3本柱から成るASEAN経済共同体(AEC)が発足し、域内の関係深化に向け新たな一歩を踏み出しています。域内の関税撤廃は進展していますが、今後は域内で一体化したサプライチェーンの強化を目指しています。
- ▶ 世界経済フォーラム(WEF)の2017年の調査では、ASEANの経済規模は世界6位、2020年には5位に浮上すると予測されています。アジア開発銀行(ADB)は9月26日に、ASEANの実質国内総生産(GDP)成長率については、2017年が前年比+5.0%、2018年が+5.1%となるとの見通しを発表しました。世界経済の回復がアジア・太平洋地域の成長を後押しするとしています。



ITを含むインフラ整備が加速、日本からは「質の高いインフラ投資」で支援

- ▶ タイでは、政府が開発する新経済特区でIoTの導入を働き掛ける日本企業もあり、インフラ整備や工場の運営において、先端技術を用いた環境整備が期待されています。
- ▶ 日本の外務省および国土交通省は、7月にASEAN地域における「質の高いインフラ投資」の推進やASEAN諸国とのさらなる関係強化に向けて、ASEAN諸国在京大使等を対象とした「質の高いインフラ」を紹介する「シティツアー」を開催しました。そこで緻密な日本の都市交通ネットワークを支えるための取り組みについて紹介しました。

出所: WEF、ADB、外務省、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

コラム:「東南アジアの現代美術」

著しい経済成長を遂げている東南アジアでは、事業投資のみならず、各国の現代美術への関心が高まっています。インドネシアでは11月に初の国際現代美術館がジャカルタにオープンします。

日本では ASEAN設立50周年にあたる2017年の7月から10月まで、国立新美術館と森美術館、国際交流基金アジアセンターが共催し、「サンシャワー: 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」が開催されています。東南アジアの現代美術を紹介する史上最大規模の展覧会です。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。